デザイン・ミーティング

「デザイン・ミーティング」は、経営にデザインを取り入れたい企業とデザイナーとの商談会形式のマッチング事業。8社のデザイン募集に対し、延べ72人のデザイナーがエントリーしました。今回、マッチングに成功した企業とデザイナーに、ミーティングに参加した経緯や狙いについて聞きました。

デザイン募集案件

新事業における商品パンフレット及びロゴマーク

デザイナー
佐々木デザイン研究室
佐々木伸也氏

デザイン募集企業
株式会社兼久
代表取締役 田中 肇氏

兵庫区に本社を置く㈱兼久。もとは材木店で、現在は外壁工事などの施行も行う建材卸だ。関西一円の工務店と取り引きしているが、「量を仕入れて安く売るという商売に限界を感じるようになりました」と2代目の田中肇社長は話す。新機軸として、以前から扱っていた断熱材「セルロースファイバー」の自社オリジナル商品を開発、販売することに。エンドユーザーに商品を知ってもらうには、ブランド化が欠かせないと考えていたところ、「デザイン・ミーティング」の開催を知り、参加することにした。

一方の佐々木デザイン研究室・佐々木伸也氏は、ロゴマークやパンフレット、店舗設計などを手掛けるグラフィックデザイナー。前年度開催の「KOBEデザイン・コンペティション」にも参加、家事代行サービスなどを行う一般社団法人のロゴマークを作成した実績を持つ。「今回は、商品のネーミングからロゴマーク制作、商品パンフレットデザインの提案までのフルメニュー。非常にやりがいのある案件と考え、挑戦することにしました」と話す。

佐々木デザイン研究室

デザインを考え始めた時点では製品もなく、イメージが湧きにくい部分もあったのですが、田中社長のお話を聞くと製品コンセプトは明快と感じました。「自然から生まれ、再び自然に返っていく」。それを最大の特長ととらえ、デザインで伝えることにしました。

考えたのが、「循環」をイメージさせる反時計回りの渦巻き型マーク。商品名は、英語で「快適」を意味する“comfort”と「繊維」を意味する“fiber”を組み合わせて、「comfibe（コンファイブ）」に。地球環境に優しい商品であることを表すため、ロゴタイプは若葉のような明るい緑色としました。渦巻き型マークは、商品名スペルの「e」にも使っています。

今回は、ブランディングに取り組まれる企業のお手伝いをさせていただきました。得意とするロゴマーク制作も含まれ、非常に取り組みがいのある内容でした。これまでもっぱら平面の世界で活動してきたのですが、ジャンルにとらわれることなく活躍する著名デザイナーの活動に憧れも。幅広い分野の方々とコラボレーションし、新しいことにどんどん挑戦していきたいと思っています。

企業シンボルマーク、パンフレット制作のほか、メーカー商品のブランディングも手掛ける。写真は淡路島のたまねぎブランド製品

DATA
佐々木デザイン研究室
事業内容：ロゴマーク・パンフレットなど各種デザイン
創業：1997年9月
所在地：神戸市長田区上池田1-1-12
電話：078-691-4402

採用したロゴマークと製品。
自然から生まれ、自然に返る特長を

株式会社兼久

断熱材の主流であるグラスウールは、使用後に産業廃棄物として処分しなければなりません。一方、古新聞などが原料のセルロースファイバーは調湿性に優れ、土に返る環境に優しい建材。従来、その既製品を仕入れて施工していましたが、グラスウールの約10倍という価格の高さが難点でした。原料古紙、製品の輸送費がコストアップの要因です。

そこで、オリジナル化に踏み切ることに。地域で集めた古紙を地域で加工し、できた断熱材を地域で使う循環モデルを作り上げました。価格は従来品の半分にまで抑えられました。

断熱材が一般の目に触れることはありませんが、エコ建材は施主様へのアピールなしに普及しません。何とか認知度を高めようとデザイン・ミーティングに参加したところ、佐々木さんは私の思いをしっかり受け止め、素晴らしいデザイン案を提案してくださいました。「comfibe（コンファイブ）」は製造から施工までを一貫して手掛けています。一層の拡販に努めていきます。

DATA
株式会社兼久
事業内容：建築材料卸、施工
創業：1966年6月
所在地：神戸市兵庫区駅前通5-1-20
電話：078-575-9444
http://www.comfibe.com/

三木市内の自社工場で製品化